



発達障害（神経発達症）ってなんだろう？

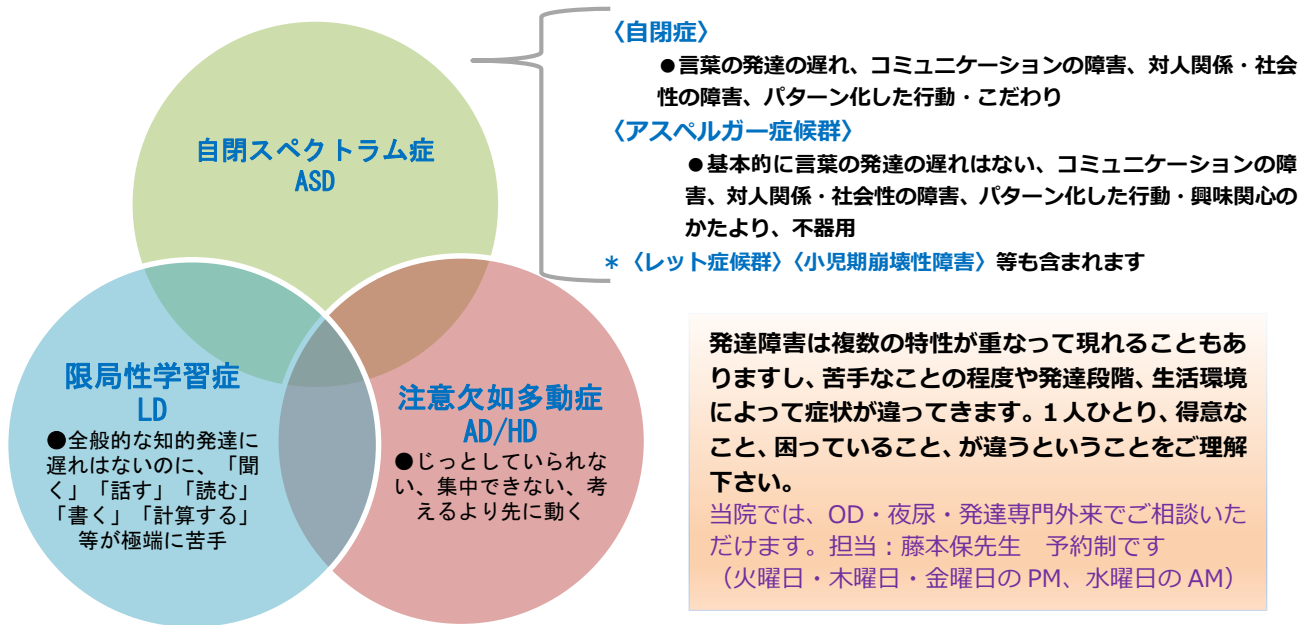
～その子の特性が個性だと理解される社会へ～

発達障害は『**自閉スペクトラム症 ASD**』『**限局性学習症 LD**』『**注意欠如多動症 AD/HD**』などがあります。特性を持つ中で、**生活に支障をきたしている状態**をいい、脳機能の発達に関係する障害です。発達障害は**脳の働きの違い**によるもので、決して「本人の努力が足りない」とか「親のしつけに問題がある」というものではありません。発達障害のある人は、他人との関係作りやコミュニケーションなどがとても苦手ですが、優れた能力が発揮されている場合もあり、周りから見て**アンバランスな様子**が理解されにくい障害です。発達障害の人たちが個々の能力を伸ばし社会の中で自立していくためには、**子供のうちからの「気づき」と特性に応じた「適切なサポート」「療育」、そして発達障害に対する私たち一人一人の理解が必要**です。

適切な理解や支援によって、「違い」は「**障害**」ではなく「**個性**」へと変化していきます！

* 障害とは（WHOの定義）

生活に困りを生じている場合で、その要因として機能不全や、社会参加の制限、活動の制限が生じている場合です。



出典：政府広報オンライン・暮らしに役立つ情報「発達障害って何だろう」
<https://www.gov-online.go.jp/featured/201104>

気になる行動・反応に気づいたら、どうすればいい？

- ① **発達の検査**(WISC など)を医療機関などで受ける
- ② 相談支援センターや相談支援事業所に連絡し、**相談員さん**を見つける(福祉サービスや各専門機関との連絡調整してくれる)
- ③ 日常の基本的な動作の指導・知識の付与や、集団生活の適応訓練を行う**児童発達支援事業所**(未就学児に限る)の利用を申し込む
小学生以上になると、授業終了後や休日に、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流促進などの発達支援を行う、**放課後等デイサービスの施設申し込み**が別途必要になります
* 役所や利用施設などが協議し、**利用が認められてから通所**することが出来ます

発達障害に早く気づくポイントは？

人との関わり方	ひとり遊びが多い、一方的でやり取りがしにくい おとなしすぎる、常に受動的 大人や年上、あるいは年下のことは遊べるが同級生とは遊べない
コミュニケーション	話を聞かなければならない場面で席を離れてしまうことが多い、話を聞いていない おしゃべりだが保育士や指導員の指示が伝わりにくい、一方的に話すことが多い
イマジネーション	相手にとって失礼なことや傷つくことを言う 友達がふざけてやったことを取り違えていじめられたと思ってしまう 急な予定変更時に不安や混乱した様子が見られる
注意・集中	一つのことに没頭すると話しかけても聞いていない 落ち着きがない、集中力がない、ぼんやりしている 忘れ物が多い、毎日のことなのに支度や片付けができない
感覚	ざわざわした音に敏感で耳を塞ぐ、雷や大きな音が苦手 靴下をいつも脱いでしまう、同じ洋服でないとだめ、手をつなぎたがらない 極端な偏食
運動	身体がクニャクニャしていることが多い、床に寝転がることが多い 極端に不器用、絵やひらがなを書くときに筆圧が弱い、食べこぼしが多い 運動の調整が苦手で乱暴に思われてしまう、大きすぎる音を出すことが多い
学習	話が流暢で頭の回転が速いことに比べて作業が極端に遅い 難しい漢字を読むことができる一方で、簡単なひらがなが書けない 図鑑や本を好んで読むが、作文を書くことは苦手
情緒・感情	極端な怖がり 一度感情が高まるとなかなか興奮がおさまらない ささいなことでも注意されるとかっとなりやすい 思い通りにならないとパニックになる

出典：政府広報オンライン・暮らしに役立つ情報「発達障害って何だろう」
<https://www.gov-online.go.jp/featured/201104>



三種混合ワクチン

百日せきは、百日せきと呼ばれる細菌がのどなどについておこる感染力の強いワクチンで防げる病気です。大人は苦しくても死亡することはありません。問題は、赤ちゃんをはじめ家族にうつすことです。母親からもらう免疫が弱いために新生児でもかかることがあり、6か月以下とくに3か月以下の乳児が感染すると重症化します。昔に比べれば減りましたが、年間1万人くらいかかっていると推測されます。症状は鼻水と軽い咳、スタックートのようなコンコンという短い咳などが出ます。実際には、母親が見ていられないくらいに苦しそうな症状です。小学校入学後の百日せき患者さんが増えていますので予防接種をお勧めしています。

出典：VPDを知って、子どもを守ろう <https://www.know-vpd.jp>

不活化ポリオワクチン

60年程前、日本でもポリオが流行していましたが、ワクチンの導入により新たな患者は出なくなりました。海外ではいまだにポリオが流行している地域があります。旅行者などがウイルスを日本に持ち込むリスクがありますが、ポリオには有効な治療法がありません。感染して重症になると手足に麻痺が起こり、後遺症として残ることがあります。欧米ではすでに小学校入学前に追加接種が実施されています。ポリオに対する抗体価が低下する前に、就学前のポリオワクチン接種をお勧めしています。

出典：SANOFI PASTEUR MAT-JP-2008476-1.0-12/2020

年長さんのお子さんは、MR ワクチンやおたふくかぜワクチンと同時接種もできます。
 ポリオ、三種混合、おたふくかぜは任意接種になります。ご希望の方は当院にご相談ください。

